

# 「北陸デジタル田園都市国家インフラ整備推進協議会 第2回会合」を開催

総務省北陸総合通信局は令和5年2月20日（月）、当局会議室及びオンラインのハイブリッド方式により、「北陸デジタル田園都市国家インフラ整備推進協議会 第2回会合」を開催しました。

小津敦局長の挨拶のあと、事務局から北陸3県及び全51市町村を対象とした5G等整備要望調査（以下、「アンケート」という。）により得られた結果について説明を行いました。このアンケートは第1回会合において提言された5G整備に係る意見を受け、携帯事業者5Gのほか、ローカル5G、LTE（4G）、Wi-Fi、LPWA等、幅広い通信サービスに係る要望を調査したものです。

その後、北陸3県から（1）各県のデジタル実装に関する独自施策、（2）総務省及び携帯電話事業者等への要望、（3）アンケート結果に表れない潜在的要望が存在する可能性及びその要因について説明がありました。それに続き、携帯事業者各社から（1）事務局作成アンケートの結果、（2）北陸3県からの説明等について発言がありました。続いて、射水ケーブルネットワーク株式会社から地元の射水市役所との協力体制に基づき地域課題の解決に取り組んだ事例について紹介があり、最後に、事務局から地域デジタル基盤活用推進事業を始めとした総務省ICT振興施策の概要等について紹介を行いました。

意見交換では、アンケート結果及び5G整備に係る課題等についての活発な議論がありました。

北陸総合通信局は、デジタル田園都市国家構想の実現に向けて、引き続き議論を深めていく予定です。



第2回会合の模様



冒頭で挨拶する小津局長